
直近の調査に基づくひとり親家庭の現状

令和6年6月20日

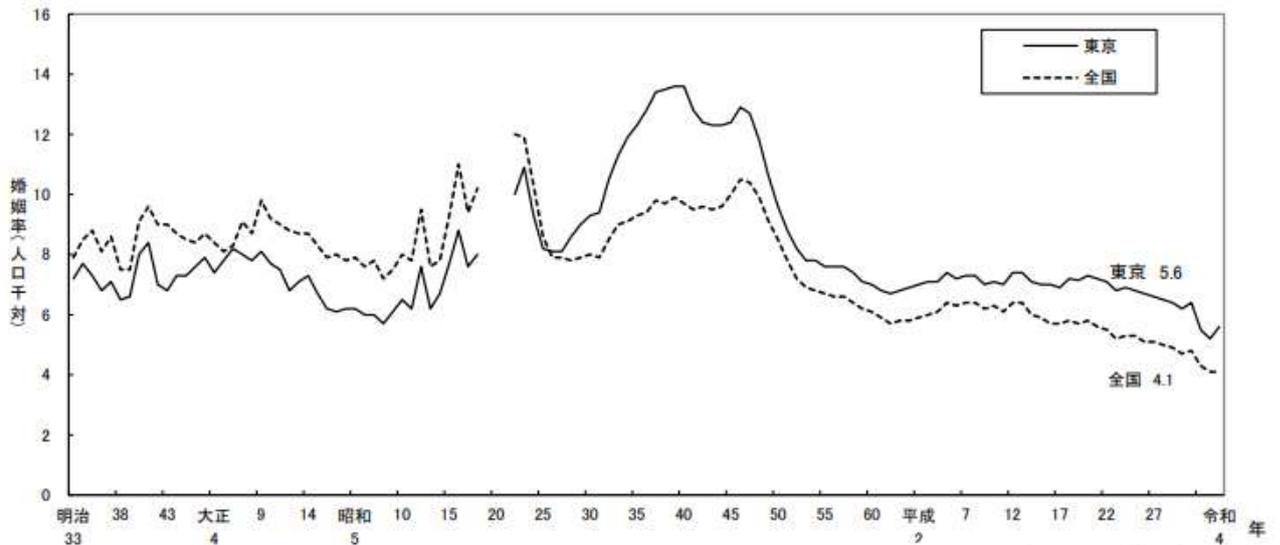
- 東京都における婚姻件数
- 東京都における離婚件数
- 母子世帯と父子世帯数の推計
- ひとり親世帯の所得状況
- ひとり親世帯の就労状況
- 住宅の種類
- 養育費の取得状況
- 親子交流の実施状況
- ひとり親になったとき／現在 悩んでいる・困っていること
- ひとり親と福祉施策のつながり
- 子供と過ごす時間
- コロナ禍前後での状況の変化

東京都における婚姻件数

婚姻件数は、昭和 55 年以降、減少傾向にある。

令和4年の婚姻件数は 75,179 組で、前年の 69,813 組より 5,366 組増加した。人口千人当たりの婚姻件数を表す「婚姻率」は、5.6 で、婚姻率は全国 4.1 より東京都の方が高い値となっている。東京都の平均初婚年齢は、夫 32.3 歳、妻 30.7 歳で、全国で最も高い。

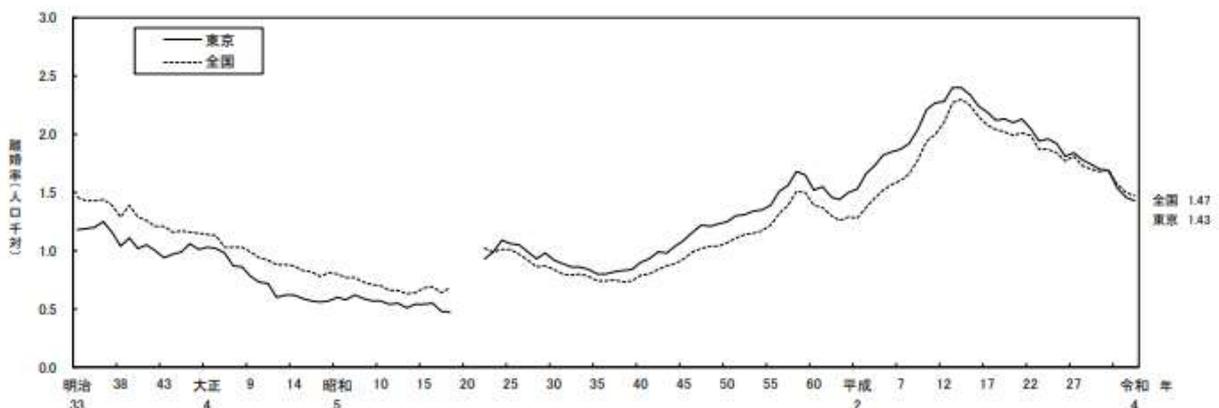
(東京都人口動態統計(令和4年度))



東京都における離婚件数

令和 4 年は離婚件数が 19,255 組で、前年の 19,605 組より 350 組減少した。人口千人あたりの離婚数を表す「離婚率」は 1.43(全国 1.47)である。

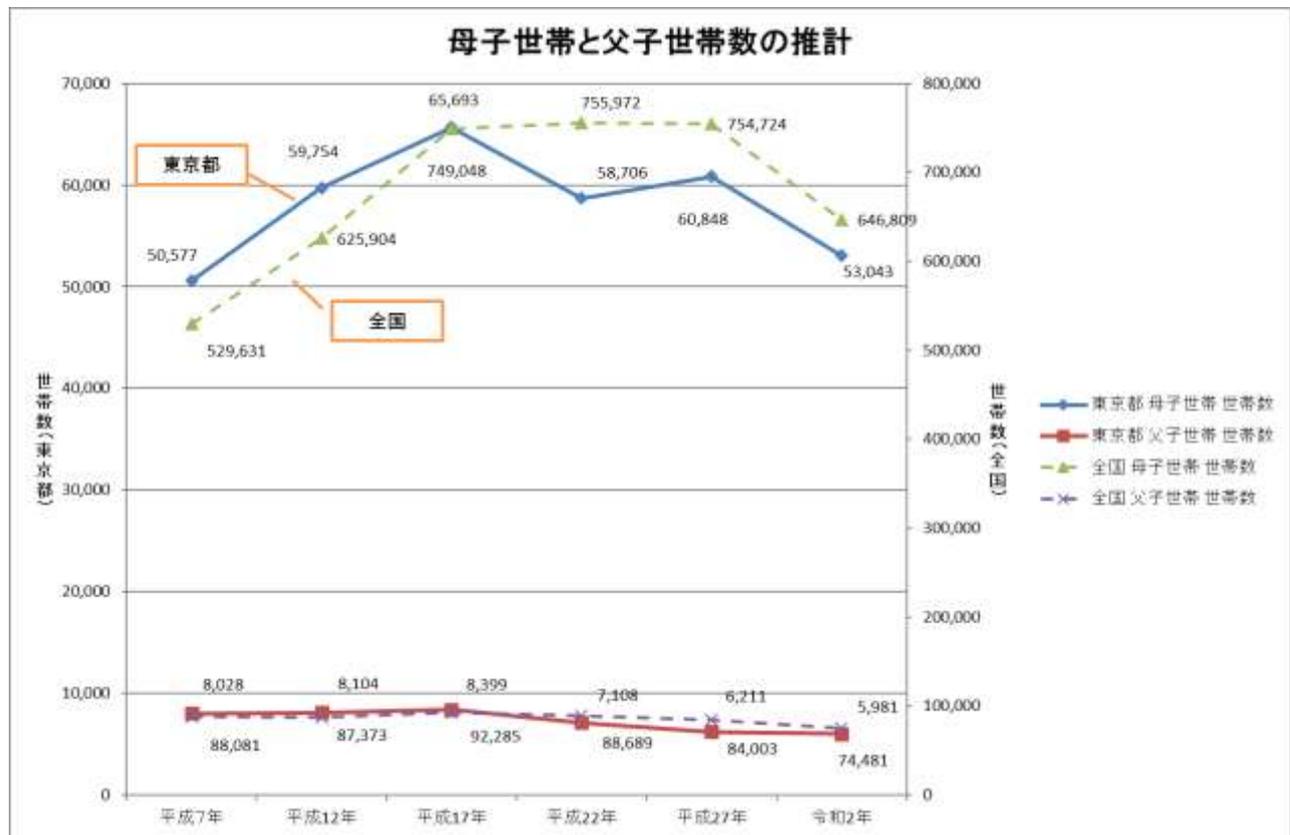
(東京都人口動態統計(令和4年度))



母子世帯と父子世帯数の推移

都内の母子世帯、父子世帯共に減少傾向である。

(令和4年度国勢調査)



国勢調査による世帯数

区分	東京都					全国				
	母子世帯		父子世帯		一般世帯	母子世帯		父子世帯		一般世帯
	世帯数	一般世帯に占める割合 (%)	世帯数	一般世帯に占める割合 (%)	世帯数	世帯数	一般世帯に占める割合 (%)	世帯数	一般世帯に占める割合 (%)	世帯数
平成7年	50,577	1.02	8,028	0.16	4,952,354	529,631	1.21	88,081	0.20	43,899,923
平成12年	59,754	1.11	8,104	0.15	5,371,057	625,904	1.34	87,373	0.19	46,782,383
平成17年	65,693	1.14	8,399	0.15	5,747,460	749,048	1.53	92,285	0.19	49,062,530
平成22年	58,706	0.92	7,108	0.11	6,382,049	755,972	1.46	88,689	0.17	51,842,307
平成27年	60,848	0.91	6,211	0.09	6,690,934	754,724	1.42	84,003	0.16	53,331,797
令和2年	53,043	0.74	5,981	0.08	7,216,650	646,809	1.16	74,481	0.13	55,704,949

※母子(父子)世帯とは、未婚、死別又は離別の女親(男親)と、その未婚の20歳未満の子供のみから成る世帯

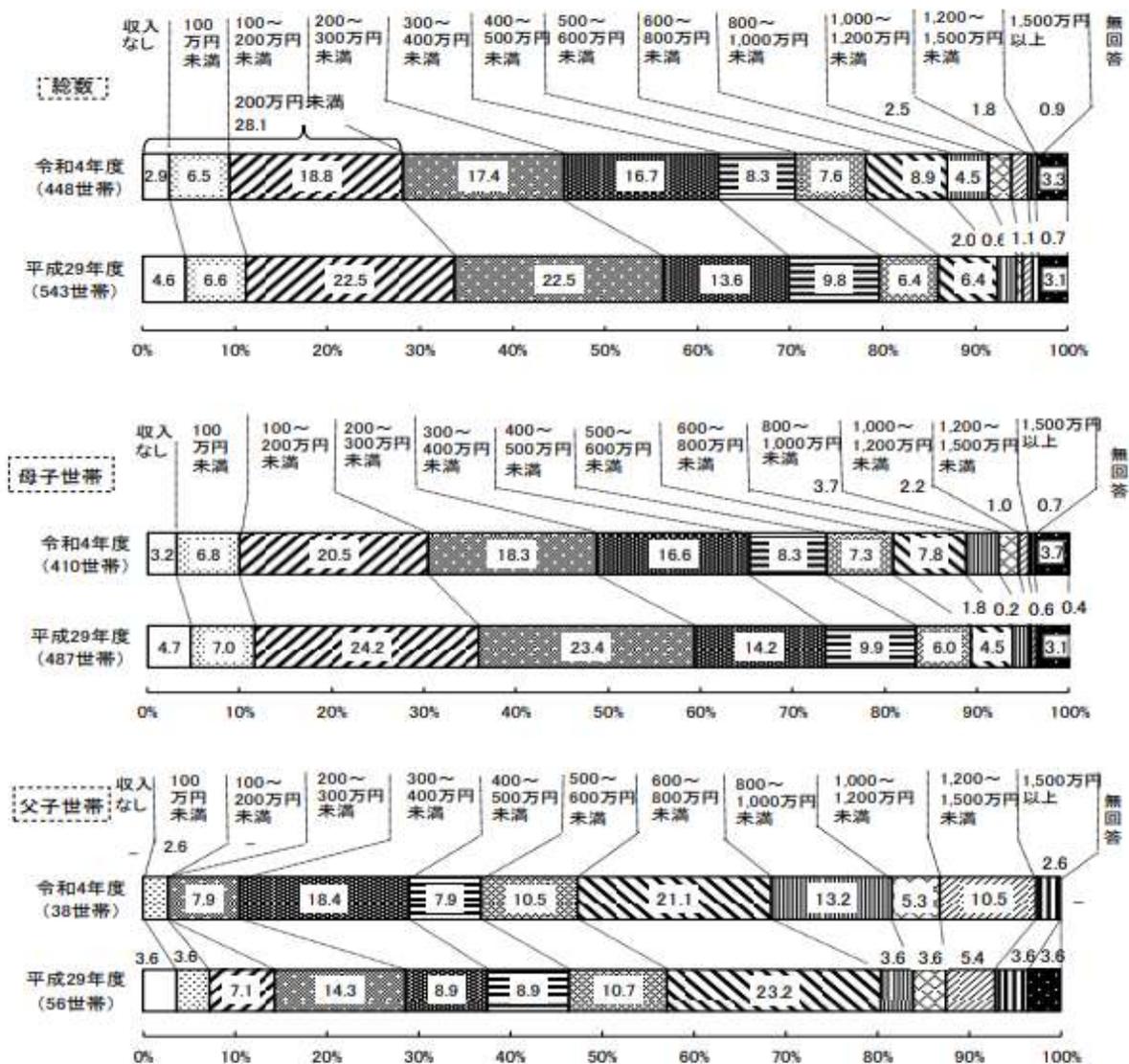
ひとり親世帯の所得状況

年間収入は、「100～200万円未満」の割合が18.8%で最も高く、次いで「200～300万円未満」が17.4%となっている。「収入なし」、「100万円未満」、「100～200万円未満」を合わせた「200万円未満」の割合は28.1%となっている。

年間収入を世帯類型(母子・父子世帯)別にみると、母子世帯では「100～200万円未満」の割合が20.5%で最も高く、次いで「200～300万円未満」が18.3%、「300～400万円未満」が16.6%となっている。

父子世帯では、「600～800万円未満」の割合が21.1%で最も高く、次いで「300～400万円未満」が18.4%、「800～1,000万円未満」が13.2%となっている。

(令和4年度 東京都福祉保健基礎調査)



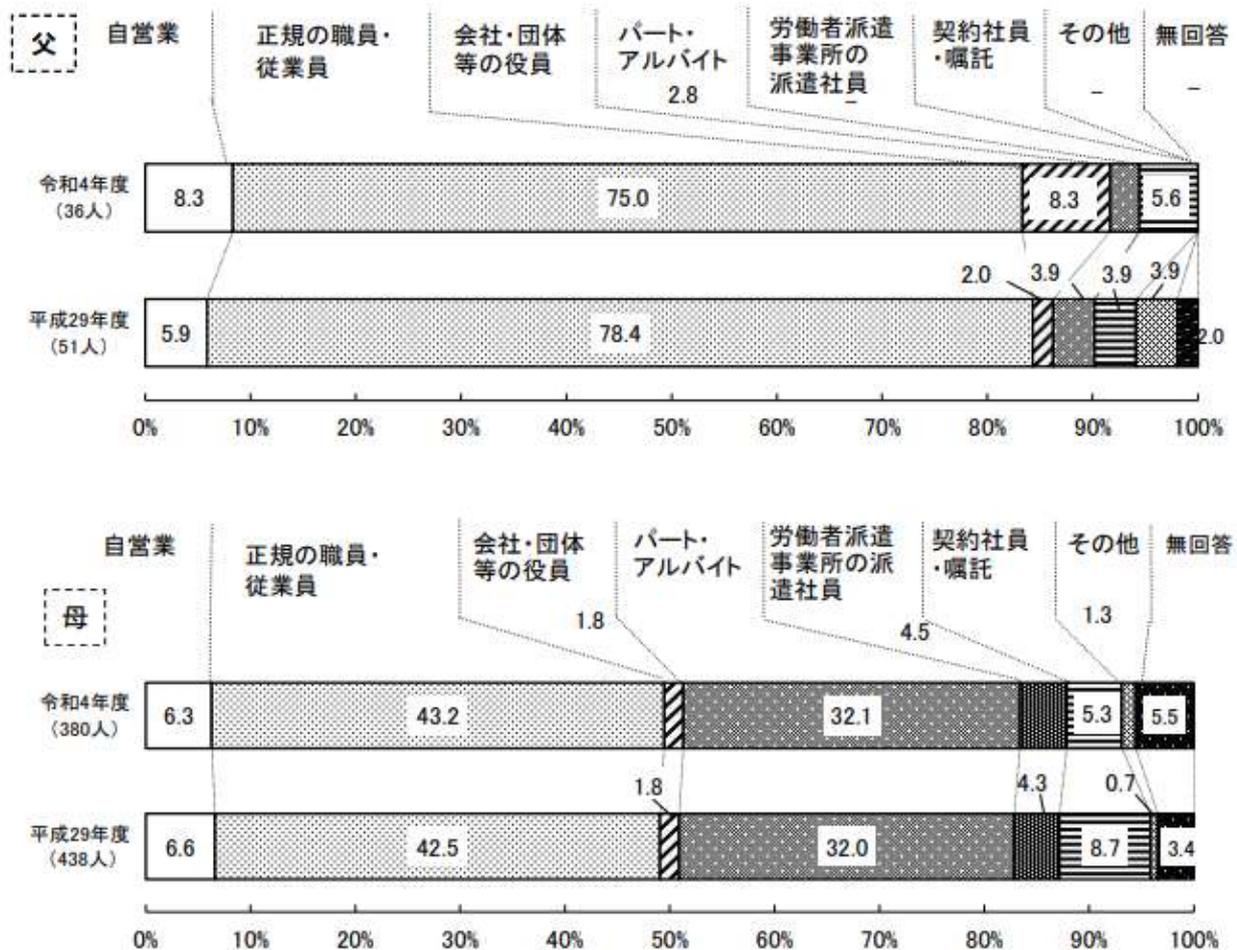
ひとり親世帯の就労状況

「就業」の割合は、父が94.7%、母は92.7%となっている。

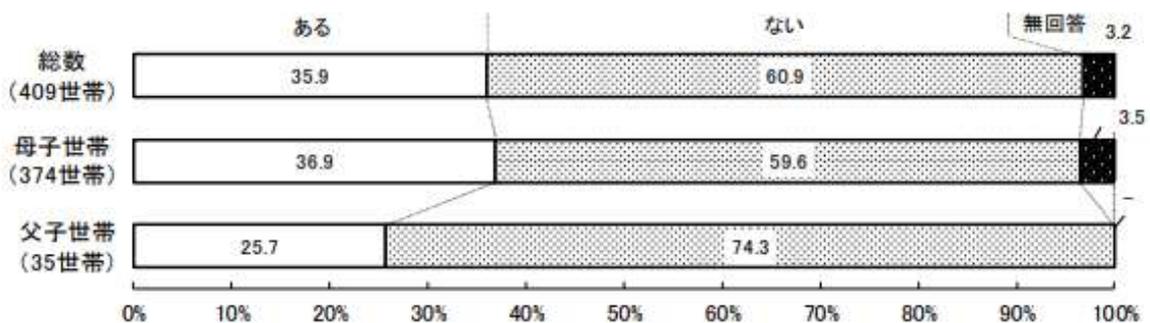
就業している父母(416人)の従業上の地位は、父母ともに「正規の職員・従業員」の割合が最も高く、父が75.0%、母は43.2%となっている。

母の「パート・アルバイト」の割合は32.1%で、29年度調査(32.0%)とほぼ同値となっている。一方、「正規の職員・従業員」の割合は43.2%で、29年度調査(42.5%)から0.7ポイント増加している。

(令和4年度 東京都福祉保健基礎調査)



働いている世帯(409世帯)に転職する希望があるか聞いたところ、転職の希望が「ある」の割合は35.9%となっている。転職の希望があるかを世帯類型(母子・父子世帯)別にみると、「ある」の割合は、母子世帯36.9%、父子世帯が25.7%となっている。(令和4年度 東京都福祉保健基礎調査)

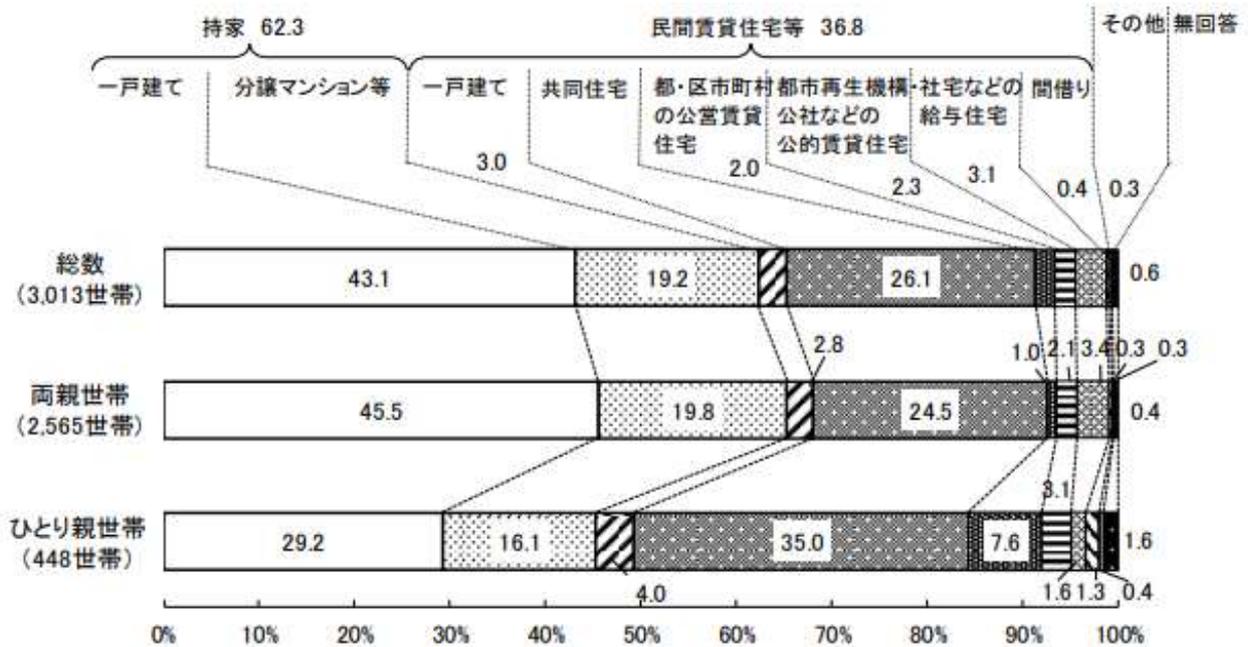


住居の種類

住居の種類を両親の有無別にみると、両親世帯では「持家(一戸建て)」の割合が 45.5%で最も高く、次いで「民間賃貸住宅(共同住宅)」の割合が 24.5%となっている。

一方、ひとり親世帯では「民間賃貸住宅(共同住宅)」の割合が 35.0%で最も高く、次いで「持家(一戸建て)」の割合が 29.2%となっている。

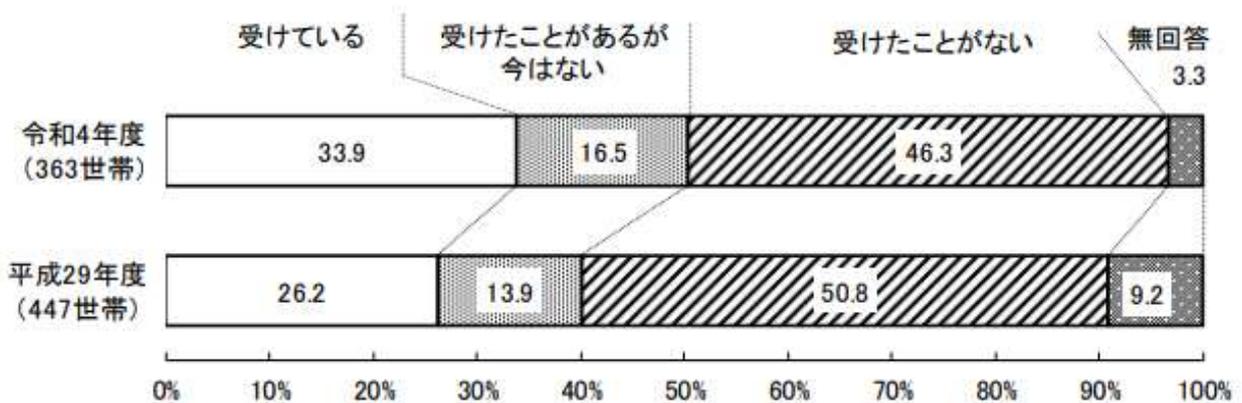
(令和4年度 東京都福祉保健基礎調査)



養育費の取得状況

ひとり親になった理由が「離婚」と「非婚・未婚」である世帯(363 世帯)に、離別した相手から養育費を受けているか聞いたところ、「受けている」の割合が 33.9%となっている。

(令和4年度 東京都福祉保健基礎調査)



親子交流の実施状況

親子交流を実施している世帯は、全体の 38.0%であった。実施していない世帯が多く、実施していない理由で最も多いものは、母子では「相手が親子交流を希望しない」、父子では「相手と関わりたくない」であった。

(ひとり親家庭の相談状況等に関する調査(令和5年度))

	取り決めがあり、実施している	取り決めがあるが、実施していない	取り決めはしていないが、実施している	取り決めはなく、実施もしていない	その他	総計
女性	23.3%	14.5%	16.9%	38.7%	6.5%	100.0%
男性	16.7%		16.7%	66.7%		100.0%
総計	23.0%	14.3%	16.9%	39.4%	6.4%	100.0%
	127人	79人	93人	217人	35人	551人

■ 親子交流をしていない理由(複数回答)

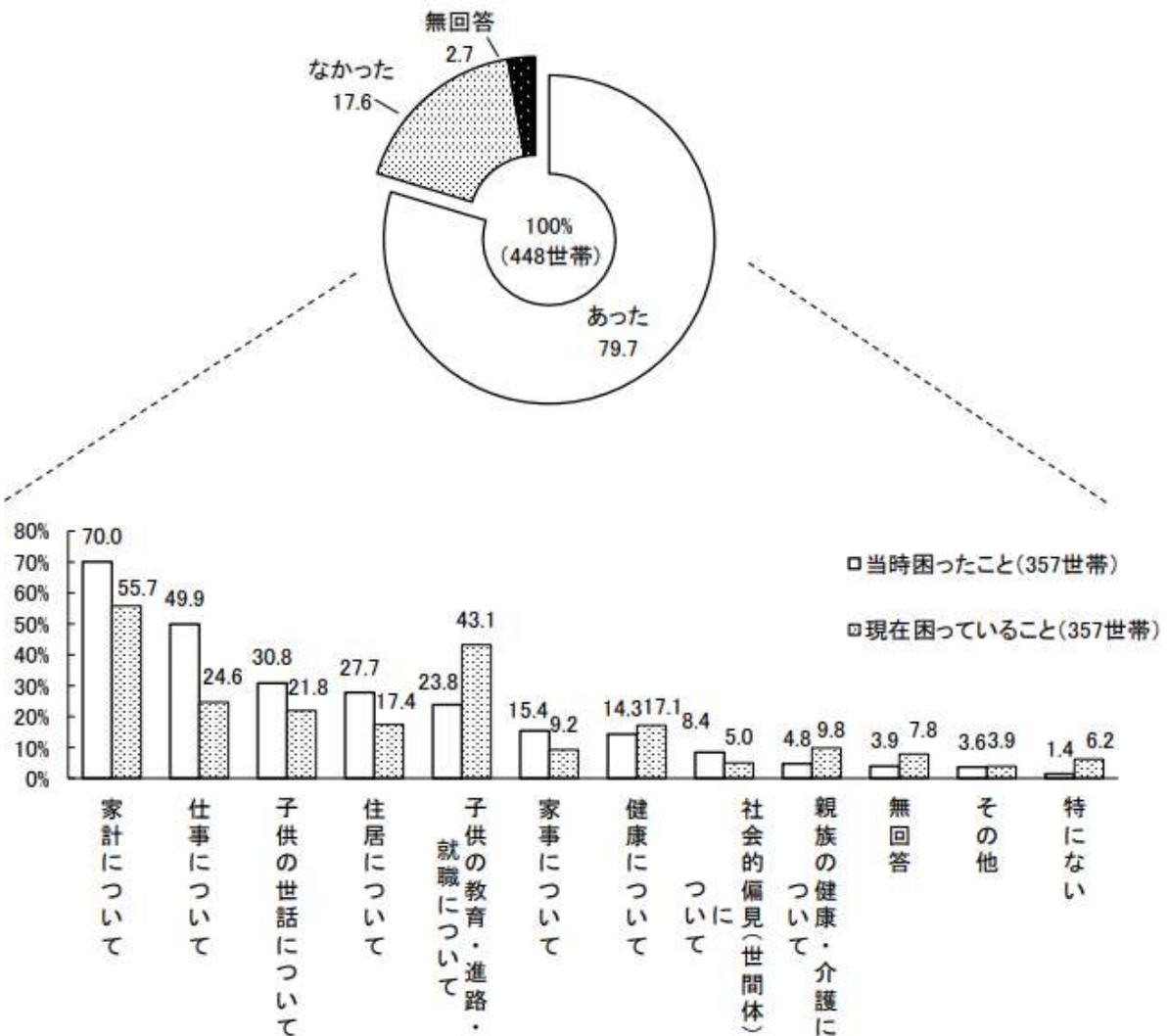
	子どもが会いたがらない	相手が親子交流を希望しない	(あなたが、)親子交流することは子供のためにならないと思う	(あなたが、)相手と関わりたくない	子どもの連れ去りや虐待の可能性はある	その他	総計
女性	34.5%	57.5%	26.2%	45.1%	21.5%	10.9%	195.6%
男性	42.9%	42.9%	42.9%	85.7%	42.9%	14.3%	271.4%
総計	34.4%	57.2%	26.3%	45.6%	21.8%	11.2%	196.5%
	98人	163人	75人	130人	62人	32人	285人

ひとり親になったとき／現在 悩んでいる・困っていること

暮らし向きのことや子育てに関して、今までに困ったことがあったか聞いたところ、「あった」の割合は 79.7%となっている。「あった」と回答した世帯(357 世帯)にその内容を聞いたところ、ひとり親になった当時は、「家計について」の割合が 70.0%で最も高く、次いで「仕事について」が 49.9%となっている。

ひとり親になって、現在困っていることは、「家計について」の割合が 55.7%で最も高く、次いで「子供の教育・進路・就職について」が 43.1%となっている。

(令和4年度 東京都福祉保健基礎調査)

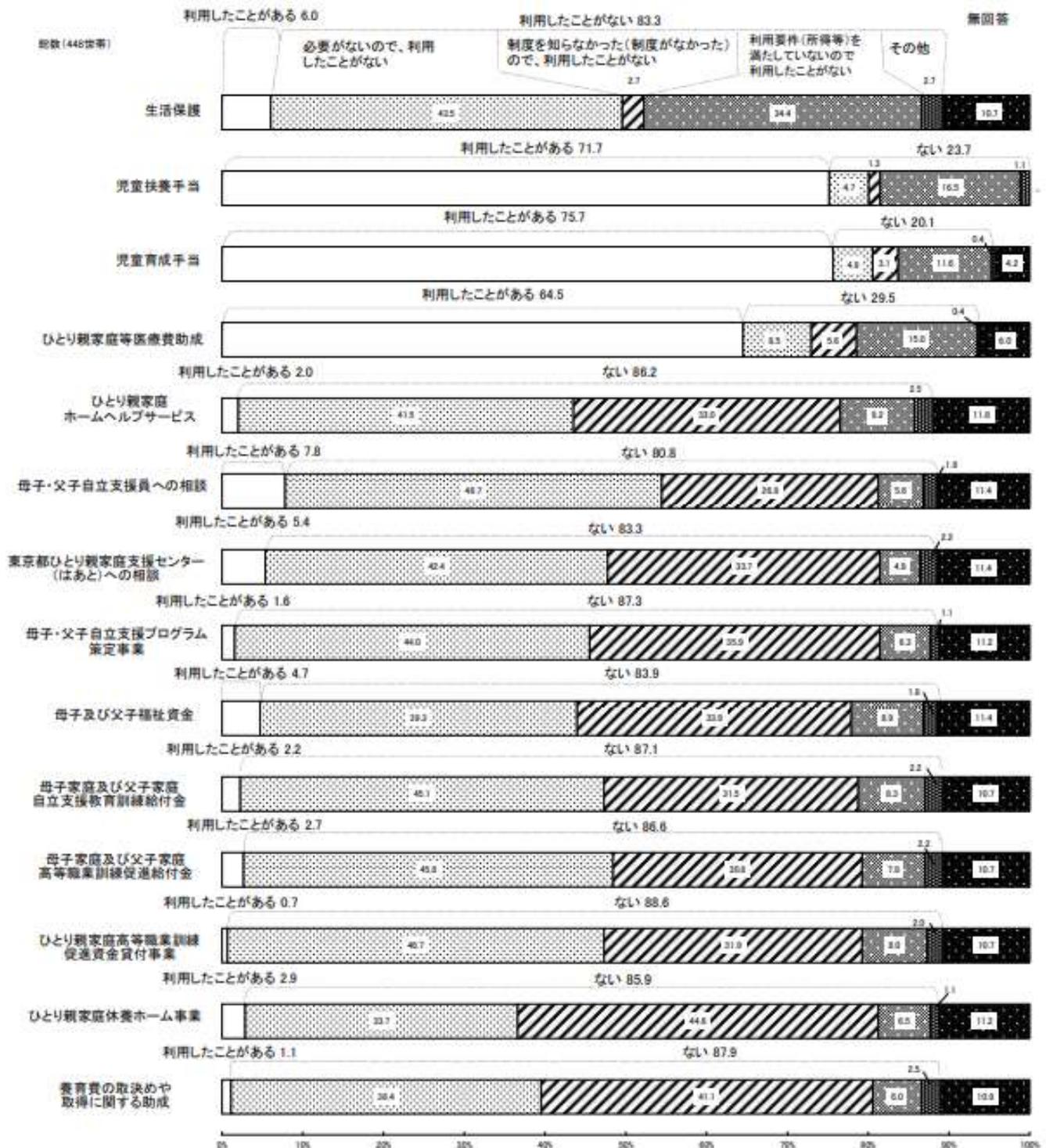


ひとり親と福祉施策のつながり

公的制度の利用の有無について聞いたところ、利用したことが「ある」の割合は「児童育成手当」が75.7%で最も高く、次いで「児童扶養手当」が71.7%、「ひとり親家庭等医療費助成」が64.5%となっている。

(令和4年度 東京都福祉保健基礎調査)

■ 福祉施策の利用状況と利用していない理由



子供と過ごす時間

子供と過ごす時間については、「家庭で(子供と)過ごす時間が十分にはとれていないと思う」と回答する割合が多かった。また、子供との会話については、母の年齢が上がるほど、「会話・やりとりは十分にはできていないと思う」と回答する割合が高かった。父子では年齢による傾向はみられない。

(ひとり親家庭の相談状況等に関する調査(令和5年度))

■ 子供と過ごす時間

性別/年齢別(無記入の27件を除く N=658)

	家庭で過ごす時間が十分にとれていると思う	家庭で過ごす時間が十分にはとれていないと思う	総計
女性	45.2%	54.8%	100.0%
男性	58.8%	41.2%	100.0%
その他		100.0%	100.0%
総計	45.3%	54.7%	100.0%

■ 子供との会話

性別/年齢別(無回答28件を除く N=657)

	思分話お うに・子 でやさ きりん てとと いりの るは会 と十		い分話お とに・子 思はやさ うでりん きとと てりの いは会 な十		合 計	
	思分話お うに・子 でやさ きりん てとと いりの るは会 と十	い分話お とに・子 思はやさ うでりん きとと てりの いは会 な十	合 計	合 計		
母子計	314	322	636	49.4%	50.6%	100.0%
18-25	1	2	3	33.3%	66.7%	100.0%
26-30	16	7	23	69.6%	30.4%	100.0%
31-35	33	45	78	42.3%	57.7%	100.0%
36-40	84	74	158	53.2%	46.8%	100.0%
41-45	83	73	156	53.2%	46.8%	100.0%
46-50	61	79	140	43.6%	56.4%	100.0%
51-55	29	34	63	46.0%	54.0%	100.0%
56-60	4	7	11	36.4%	63.6%	100.0%
61-65	2		2	100.0%		100.0%
年齢不詳	1	1	2	50.0%	50.0%	100.0%
父子計	12	5	17	70.6%	29.4%	100.0%
18-25	1		1	100.0%		100.0%
36-40	2		2	100.0%		100.0%
41-45	3	1	4	75.0%	25.0%	100.0%
46-50	1	1	2	50.0%	50.0%	100.0%
51-55	1	3	4	25.0%	75.0%	100.0%
56-60	2		2	100.0%		100.0%
61-65	2		2	100.0%		100.0%
その他計	1	3	4	25.0%	75.0%	100.0%
31-35		1	1		100.0%	100.0%
36-40		1	1		100.0%	100.0%
41-45	1	1	2	50.0%	50.0%	100.0%
合計	327	330	657	49.8%	50.2%	100.0%

コロナ禍前後での状況の変化

コロナ禍前後での状況の変化として、悩み・ストレスについては、父母ともに「増えた」が最も高く、母全体では68.2%、父全体では76.5%となっている。

(ひとり親家庭の相談状況等に関する調査(令和5年度))

性別/年齢別 (無回答38件を除く N=647)

	増えた	変わらない	減った	合計	増えた	変わらない	減った	合計
母子計	427	176	23	626	68.2%	28.1%	3.7%	100.0%
18-25	1			1	100.0%			100.0%
26-30	15	7	1	23	65.2%	30.4%	4.3%	100.0%
31-35	45	28	1	74	60.8%	37.8%	1.4%	100.0%
36-40	108	47	5	160	67.5%	29.4%	3.1%	100.0%
41-45	103	41	8	152	67.8%	27.0%	5.3%	100.0%
46-50	101	34	4	139	72.7%	24.5%	2.9%	100.0%
51-55	43	16	3	62	69.4%	25.8%	4.8%	100.0%
56-60	8	2	1	11	72.7%	18.2%	9.1%	100.0%
61-65	2			2	100.0%			100.0%
年齢不詳	1	1		2	50.0%	50.0%		100.0%
父子計	13	4		17	76.5%	23.5%		100.0%
18-25		1		1		100.0%		100.0%
36-40	1	1		2	50.0%	50.0%		100.0%
41-45	4			4	100.0%			100.0%
46-50	2			2	100.0%			100.0%
51-55	3	1		4	75.0%	25.0%		100.0%
56-60	2			2	100.0%			100.0%
61-65	1	1		2	50.0%	50.0%		100.0%
その他計	4			4	100.0%			100.0%
31-35	1			1	100.0%			100.0%
41-45	3			3	100.0%			100.0%
合計	444	180	23	647	68.6%	27.8%	3.6%	100.0%